




【家庭教育支援チーム】

チーム名	男鹿市家庭教育支援チーム
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	男鹿市全域
活動範囲	男鹿市全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域連携総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>12</u> 人 元保育士3人、主任児童委員4人、子育て団体スタッフ4人、 読み聞かせボランティア1人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 ・「お茶っこサロン」の開設 保育園、幼稚園、小・中学校や各関係機関での行事や保護者学習会等などで、お茶を飲みながら家庭教育や子育てに関する想いや悩みなどを気軽に話し合えるコーナー「お茶っこサロン」を設ける。保護者との共通理解を図るとともに、ざっくばらんに話せる和やかな雰囲気を作ることで生の声を聴き、今後の活動設定につなげる。  ・「子育て元気アップ講座」の開催 年に数回、各分野の講師を招き、家庭教育や子育てに関する講座を開催する。講座のテーマは、お茶っこサロンであがった話題など、ニーズに合ったものを設定。座学だけでなく、保護者同士や講師との話し合いができる場も設ける。 

	<p>・家庭教育に関する情報提供 お茶っこサロンや講座でのミニ移動図書館(家庭教育関係図書や絵本の紹介・貸し出し)、相談窓口への取り次ぎ、専門家の紹介など。 (写真は、お茶っこサロンでのミニ移動図書館の様子)</p>  <p>・「お茶っこ通信」の作成・配布 年に1度、その年度の活動内容を紹介する「お茶っこ通信」を作成し、関係機関や市内の保育園や学校を通じて保護者に配布する。</p> <p>・報告書の作成・配布 チーム員の資質向上と他機関との情報共有を目的とし、年に1度、チームの概要や当該年度の活動をまとめた報告書を発行。市内の保育園や小・中学校、その他関係機関に配布する。</p>
<p>活動の成果</p>	<p>・お茶っこサロンなどで話題にあがったテーマを設定した講座では、日頃の生の声を取り入れた学習内容だけでなく、参加者同士の積極的な話し合いや講師とのやりとりがみられた。</p> <p>・活動の積み重ねと情報発信により、地域の身近な相談役として相談体制を確立し、保護者の居場所づくりに貢献している。</p>
<p>活動において苦労した点や課題</p>	<p>・発足当初、馴染みのない活動のため保護者や各種教育機関に理解してもらうことに悩んだが、まずは、顔を覚えてもらうために学校の行事などに参加することで、チームの存在を徐々に広めていった。</p> <p>・どんな活動が有益であるか、活動内容の設定に苦労したが、アンケートを取ったり、お茶っこサロンで情報収集をしたりすることで、家庭教育の現状と保護者が求めている情報を理解し、ニーズに合った活動をすることができた。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>・現在、講座の開催や学校行事など人の集まる場所での活動を行っているが、それらに参加できない保護者を対象とした活動も取り入れていきたい。</p> <p>・おがっこネウボラ(市の未就学児支援)や他機関と連携しながら、切れ目のない継続的な支援を行いたい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)秋田県男鹿市教育委員会 生涯学習課 生涯学習スポーツ班 担当 武内 (TEL)0185-24-9102 (E-mail) syougaiyakusyu@city.oga.akita.jp</p>